

第37期全国地域リーダー養成塾 シラバス

開催時期	研修科目	内容
第1回 5月14日(水) 5月16日(金)	開講式	
	主任講師 オリエンテーション	塾生がゼミナールを選択する際の参考とするため、主任講師がこれまでの研究活動や現在の研究テーマ等を紹介するとともに、ゼミ活動で取り組みたいことなどを紹介する。
	リーダー塾で学んだこと (修了者から)	リーダー塾修了生から、リーダー塾受講中の出来事やリーダー塾を修了後の活動等について話を聞き、今後の学びや活動の参考にする。
	私の自治実践論	自治体の首長による理論及び実践の講義を通じ、地域リーダーが備えるべき資質や心構えなどについて理解を深める。
	地方財政制度の基本と自治体財政	地方分権の進展や地方財政をとりまく法律や制度の変化の中で、自治体に求められる地方財政の現状と課題について理解を深める。
	ジェンダー平等と多様性(ダイバーシティ)のある地域づくり	持続可能な地域づくりを進める中で、ジェンダー平等や多様性が求められている。これらの観点から留意するポイントなど、具体的な事例を通して考える。
	被災地復興にみる未来志向の地域づくり	東日本大震災からの復興を目指す中、住民が主体となって、安心・安全で、災害に強いまちづくりを進めるとともに、将来にわたって心の拠り所となる、美しいふるさとの再生の実践事例を学ぶ。
地域をとりまく時代の潮流 (塾長講話)	リーダー塾参加の意義と心構えをあらためて明確にするとともに、地域の歴史やまちなりたちから地域の価値を捉え、まちの将来を考える契機とする。	
第2回 6月17日(火) 6月20日(金)	言いたいことが相手に伝わる文章の書き方	SNSやオンライン会議などのデジタル化が進み、多様な情報があふれる中、必要な情報を意識的に収集して整理し、的確かつ簡潔に伝えることが求められる。そのための「観察力」「要約力」のスキルを学ぶ。
	地域コミュニティへの自治体職員の関り方	高齢化や担い手不足が続く地域コミュニティの再生に向けて、自治体職員が果たすべき役割と考え方、行動について理解を深める。
	地域課題と自治体政策リサーチ (主任講師講義)	地域課題を正確に捉え、その課題を解決に導く糸口を探る方法を考えるとともに、地域資源の活かした実装のあり方への理解を深める。
	都市の読み取り方 (塾長講義)	物語と人格ある都市について、多くの事例を読み取り、まちづくりにおいて、景観形成のために果たすべき住民や行政の役割について学ぶとともに、事例を通じ、理解を深める。
	地方自治制度と行政運営の方法	少子高齢化、人口減少が進む中、地方における行財政改革や行政サービスのあり方、施策の動向について考察する。
	ゼミナール(第1回)	主任講師の指導のもと、テーマに沿った調査・研究を行い、成果をまとめた修了レポートを作成する。
	現地調査(第1回)	NPO等によるまちづくり(福祉、環境、コミュニティ再生、地域おこし等)について先駆的事例を視察調査し、実践者の講義を受ける。
	経営者に学ぶリーダーシップ (公開講義)	企業経営者によるリーダーシップ・コーチング等に関する講義(地域活性化センター会員に公開)。リーダーが備えるべき資質や心構えなどについて理解を深める。
	プレゼンテーション研修 (グループ演習)	相手が理解しやすい話し方や言葉の選び方、資料の作成方法や提示方法など、「人に伝える」スキルを学ぶ。

第37期全国地域リーダー養成塾 シラバス

開催時期	研修科目	内容
第3回 7月8日(火) 7月11日(金)	地域の価値を高める景観・都市デザイン戦略 (主任講師講義)	地域の豊かさの源泉がどこにあるかを丁寧に見つめなおし、地域再生のための個性豊かなまちづくりをどのように進めてゆくかに対する理解を深める。
	地域の誇りである歴史・伝統・文化	地域に愛着を持ち、古くから伝わる伝統文化を継承するとともに、広く次世代につなげている実践事例を学ぶ。
	人が集まるセミナー企画とチラシの作り方(広報の効果的な手法)	企画や事業の効果を高める広報の手法やPR、メディア対応、リリースの作り方など、自治体広報や団体広報の実践的手法を学ぶ。
	地域づくりのプラットフォーム構築と自治体	地域における自治体の役割や財政負担の仕組みについて理解を深めるとともに、多様な担い手が連携を図り、社会経済のつながりを育む地域プラットフォームの構築について考察する。
	地域活性化におけるマーケティングの考え方 (グループ演習)	持続可能な地域づくりを行うために、地域の「稼ぐ力」を高めるという視点からマーケティング戦略を考える手法やプロセスを学ぶ。
	三方よし(市民・事業者・まち)の地域振興を考える(講義・グループ演習)	地域資源を活用したビジネスモデルを学ぶとともに、自らの地域が選ばれるために必要な要素や視点への理解を深める。
	これからの時代のまちの魅力創生	中心市街地活性化、商店街再生など、にぎわいあふれる地域づくりを行うために、地域環境、地域経済、地域社会の各側面から、考察する。
第4回 8月27日(水) 8月29日(金)	地域の課題をデータで見える化する (主任講師講義)	地域の変化や課題をデータから分析し、課題解決に向けた手法を考えるとともに、データの読み取り方や見える化への留意事項について学ぶ。
	農山村地域の振興と担い手づくり (主任講師講義)	中山間地域における、新たなコミュニティと経済構造の構築によるまちづくりについて学び、内発的発展による地域自立について理解を深める。
	農山村振興の実践～都市農村交流による地域活性化	農山村地域における価値とグリーンツーリズムの取組事例から、農山村振興のための視点やポイントを学ぶ。
	ゼミナール(第2回)	前掲
	現地調査(第2回)	前掲
	ファシリテーション研修 (グループ演習)	建設的な会議の運営や、地域づくりの場面で多様な住民のニーズの調整や地域の合意形成を進めるために必要な、ファシリテーション能力の向上を図る。
第5回 10月1日(水) 10月3日(金)	社会と市民と自治体 (主任講師講義)	地域政策を考えると、社会構造や市民と自治体との関係性を理解したうえで、現状の政策・制度を紐解いていくという考え方の基盤を学ぶ。
	ゼミナール(第3回)	前掲
	現地調査(第3回)	前掲
	修了者研修会 分科会	歴代主任講師によるテーマ別分科会。(修了者研修と合同開催)
	修了者研修会 特別講義	様々な分野の地域づくりの第一人者による、実践に基づいた講義。(修了者研修と合同開催)
	自治体における政策企画の考え方～ロジックモデルを学ぶ～(講義・グループ演習)	政策を論理的に立案するうえで必要なロジックモデルの基礎を学び、政策目的を明確化したうえで合理的根拠に基づき考える手法について理解を深める。

第37期全国地域リーダー養成塾 シラバス

開催時期	研修科目	内容
第6回 12月3日(水) 12月5日(金)	地域の経済循環および小規模地域の人口推計	地域経済の特徴や課題を客観的に認識する手法(地域経済循環分析)の概要を理解するとともに、その分析に基づく施策・政策の検討ポイントを学ぶ。
	地域における効果的なプラットフォームをいかにつくるか	ICT技術と地域コミュニティをつなぎ、地域課題にアプローチする事例を理解するとともに、多様な主体が地域づくりに関わる社会的創発の場(プラットフォーム)の重要性について理解を深める。
	地域文化の土壌を創るデザイン	その地域にしかないものを活かす、創り出す、発信することにより、新たなコミュニティや地域文化を生み出している実践事例を学ぶ。
	ゼミナール(第4回)	前掲
	現地調査(第4回)	前掲
	移住・交流による地域活性化	少子高齢社会における地方と都市部との地域間交流の意義を学び、移住・交流による地域活性化の事例を通し、地域間交流の手法について理解を深める。
	地域おこし協力隊実践報告	全国各地で活躍する地域おこし協力隊の活動について、現役協力隊員やOB隊員から学ぶことで制度と実状の理解を深める。
	先駆的地域づくり現地調査報告会	各ゼミが先駆的地域づくり現地調査で行った内容を共有する。
第7回 2月3日(火) 2月6日(金)	修了レポート発表	ゼミナール別に、1年間の研修の成果をレポートとして発表する。
	修了式	
	修了者支援事業説明会	リーダー塾修了後の支援事業について説明する。
10月中旬 11月中旬	先駆的地域づくり現地調査	ゼミナール別に、2泊3日の日程で全国各地の地域づくりの先駆地を訪問し、地域づくりのキーパーソンなどを通じて地域づくりの問題解決策を学ぶ。
1月中旬	ゼミナール特別研修	ゼミナール別に、1年間の研修の成果をレポートとして作成するため、1泊2日の日程で主任講師から最終的な指導を受ける。